

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月14日(金) 午後1:30~3:30
- 3 開催場所 羽島高等学校図書室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	兼松 博之	中部学院大学専任講師
副会長	竹中 美環	東横INN岐阜羽島駅新幹線南口支配人
委 員	篠田 仁美	本校PTA副会長
	住奥 豊広	岐阜羽島警察署竹鼻交番所長
	林 博子	国際ソロプチミスト羽島会長
	舛本千佳子	羽島の未来を築く会理事長
	森山 健	竹鼻中学校長
	渡辺 憲治	羽島商工会議所専務理事兼事務局長
	渡邊 丈展	本校同窓会長
学 校 側		
	後藤周太郎	校長
	野田美奈子	教頭
	中川 弘之	事務長
	中田 啓士	教務部長
	浦部 陽	進路指導部長
	野中かおり	生徒指導部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 教務部より 令和4年度 学校アンケートの結果について

意見1: 一般的にFormsを活用してアンケートに回答する機会が多くなっている。質問項目が多いと回答するのに時間を要するので、質問内容について工夫するとよい。回答率の向上につながる。

(2) 生徒指導部より 基本的な生活習慣の確立に向けて

意見1: 遅刻回数について、令和3年度9月だけ少ないのは理由があるのか。

⇒ 新型コロナウイルス感染防止のため、県立学校が一斉休校になった期間があり、生徒の登校日数が例年より少なく、遅刻回数も減少した。

(3) 進路指導部より 現在の進路状況について

意見1: 就職希望者が増加していることについて、カリキュラム、教員の人事面でも対応できているので、その成果が表れている。

(4) 本校への意見、提言等

意見1：生徒の様子が年々落ち着いてきている。生徒が自分の意見を堂々と述べている場面があり、真剣に取り組んでいる様子があった。教員と生徒が良好な関係を築けている。
(複数)

意見2：普通科であるが、単位制となり生徒の科目選択の幅が広がっている。商業科目の授業を選択し、就職に有利な資格取得ができていることも、その成果の一つである。

意見3：学校アンケートで、生徒の80%以上が「入学出来て良かった」の回答である。高等学校は自分で学校を選択し、学ぶ場所なので、この結果が出ていることが重要である。

意見4：生徒指導の面では、情報モラル指導が高校と同様で中学校でも難しい。中学校でも繰り返し指導を行っているが、SNSのトラブルが多く起きている。新型コロナウイルスの影響で過去2年間活動の制限があり、人間関係が上手く築けないことや、感情のずれが多いことも一つの要因である。

意見5：吹奏楽部が全国大会に出場することが決まり、素晴らしいことである。生徒が生き生きとした表情で演奏する様子が想像できる。このような活動が学業にも生かされる。高校生は成長する可能性が大きい。引き続き、生徒たちが指導を受けながら活躍できることを期待している。

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会において、今年度の学校アンケートの結果について学校側から説明し、全委員が確認した。
- ・様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。